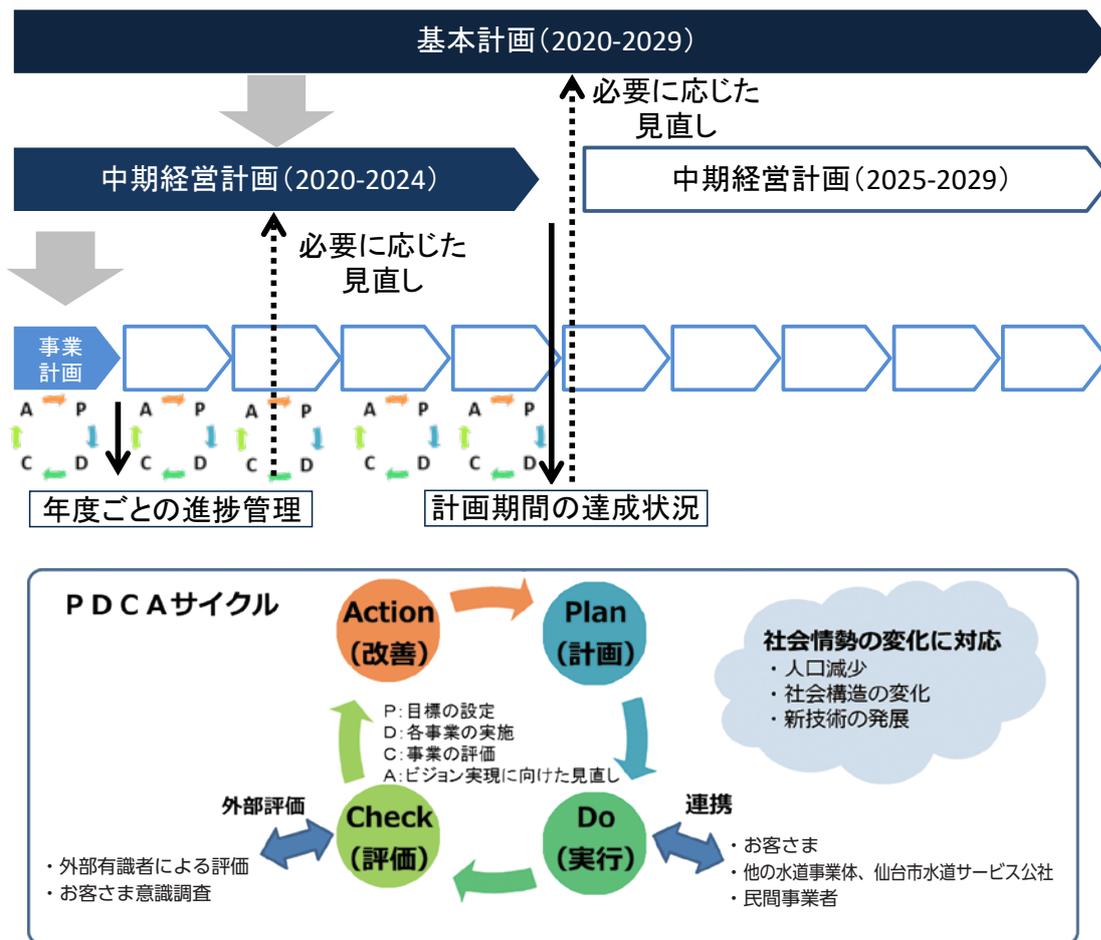


# 7 推進体制

本計画では、目指す3つの「将来像」の実現のために、今後10年間に取り組む12の「施策の基本的方向性」を示しました。

この方向性に沿った具体的な取組の推進のために、前期・後期5年ごとの「仙台市水道事業中期経営計画」を策定し、年次計画や経営指標、各取組により期待される効果を示します。年度ごとにPDCAサイクルによる進捗管理を行い、必要に応じた計画の見直しを図ることで、将来像の実現を目指します。



本計画の推進のために、P9に記載の視点を踏まえ、新しく以下の取組を行います。

<p><b>NEW 1</b></p> <p><b>「将来像・施策の基本的方向性」の評価</b></p> <p>各事業の進捗管理を行うとともに、各事業における実績が、計画に掲げる基本理念や将来像の実現、施策の基本的方向性、本市のまちづくりや社会的要請と整合しているかという観点で評価し、必要に応じて計画の見直しを図ります。</p> <p><b>Point 経営戦略</b></p>	<p><b>NEW 2</b></p> <p><b>「(仮称)仙台市水道事業経営検討委員会」の新設</b></p> <p>各分野の有識者により構成される会議を設置し、本計画の進捗状況に客観的な評価をいただくとともに、今後の社会情勢や水道事業を取り巻く環境の変化に順応できているか等、経営上の重要課題について審議し、必要に応じて計画の見直しを図ります。</p> <p><b>Point 外部評価</b></p>	<p><b>NEW 3</b></p> <p><b>「お客さま意識調査」の継続的な実施</b></p> <p>本計画では、水道事業へのお客さまの理解を得るために、お客さまとの双方向コミュニケーションの充実等を図っていきます。その成果を測り、今後の取組にフィードバックするために、お客さま意識調査を継続的に実施していきます。</p> <p><b>Point お客さまの理解</b></p>
--	--	---